

リトアニア政治・経済月間情勢(5月)

概況

- 14日、ビリニュス空港が滑走路の改良工事のために、2017年7月から8月の間の35日間、閉鎖される予定であることが明らかになった。
- 22日、大使公邸において、リマンタス・ヴァイツクス氏 (Mr. Rimantas Vaitkus) への旭日中綬章伝達式を行った。
- 27日、グリボウスカイト大統領は、労働党のピトレニエネ議員 (Ms. Audrone Pitreniene) を教育科学大臣として任命する大統領令に署名した。
- 30日、労働党党首選が実施され、マズローニス欧州議員 (Mr. Valentinas Mazuronis) が党首に選出されたほか、12名の副党首が選出され、ガプシス議員が第一副党首となった。

内政

【5日】国会において、リトアニアにおける二重国籍の導入に関する憲法改正(第12条)のための国民投票実施に関する法案の第一読会が行われた。

【14日】シュトラウパイト・ビサギナス市長 (Ms. Dalia Straupaite) が、汚職容疑(勤務時間中に市当局の職員に市長宅の修理作業などを行わせたこと)の取り調べのため、1月13日から4ヶ月間職務が禁じられていたが、この禁止期間が2ヶ月間延長されることになった。タマラ・ガイヴォロンスカヤ氏 (Ms. Tamara Gaivoronskaja) が同市長代行に任命された。

【21日】(16日、スウェーデンのヨーテボリからリトアニアに向かって2名のパイロットが操縦するリトアニアの航空機が、行方不明となった件について) オレカス国防大臣は、海中に沈んだ飛行機の中に1人のパイロットが発見されたことを確認した。野党代表は、オレカス国防大臣に責任を取るよう求めた。しかしながら、オレカス国防大臣は辞任するつもりはないと述べた。

【25日】政党と政治家の支持率に関する世論調査が発表された。

社会民主党	18.5%	(前回4月 19.3%)
リベラルムーブメント	12.0%	(14.8%)
祖国同盟	9.5%	(8.3%)
労働党	7.3%	(6.3%)
秩序と正義党	6.2%	(8.6%)

国民の利益を最も代表している政治家

グリボウスカイト大統領	21.2%	(21.8%)
ブトケビチュウス首相	12.0%	(11.2%)

個々の政治家について支持するか否か

ブトケビチュウス首相	59.6%	(59.7%)
グリボウスカイト大統領	59.5%	(63.9%)
マサーリス・リベラルムーブメント党首	42.6%	(44.2%)

【25日】秩序と正義党のブルンザ議員 (Mr. Stasys Brundza) は、国会議員は小選挙区においてのみ選出されるべきという法改正案を提案した。

【27日】グリボウスカイト大統領は、ピトレニエネ議員(労働党)を教育科学大臣として任命する大統領令に署名した。(4月26日に労働党がパバルキス教育科学大臣に対し、労働党及び政府の課題に沿った取り組みをしていないとして、大臣を辞任するよう求め、30日、同大臣が辞表を提出し、5月11日に任を解かれた。)

【29日】政府は、労働関係を緩和し、社会保険制度を再編する社会モデルの指針を承認した。6月8日に最終的な協議が行われる予定。ブトケビチュウス首相は、労働組合による抗議運動があったものの、遅延することなく、承認する予定である、この社会モデルは、被雇用者の利益を保護するものである、40の修正が行われる予定であると述べた。

【30日】労働党党首選が実施され、マズローニス欧州議員が党首に選出されたほか、12名の副党首が選出され、ガプシス議員が第一副党首となった。グロウニエネ前党首(国会議長)は、12名の副党首の中に含まれなかった。

外 交

【4日】検察庁は、1977年生まれのロシア国民、ロシア連邦保安庁職員をスパイ容疑で拘束、リトアニア国家保安局が長期にわたって防諜活動を行う間、4月29日に拘束された人物が、リトアニア政府機関、法執行機関及び諜報機関の内部に入り込む目的で反リトアニア諜報行為に従事したと疑うに足る情報を収集したと発表した。この容疑者は、検察官の要求により3ヶ月間拘束される。

【4日～6日】ドイツ・イダルオーベルシュタインの独軍砲兵隊学校において専門家会合が行われ、独軍が、リトアニアに対し自走榴弾砲(Panzerhaubitze 2000(PzH))を引き渡すことに合意した。

【5日】パウラウスカス国会安全保障防衛委員会委員長は、ロシアが、KGB元内通者と連絡を取り、影響力を取り戻そうとする試みを行っていた旨発言した。

【5日及び6日】デンマーク・ヘルシンゴーにおいて開催された北欧・バルト諸国(NB8)外相会合にリンケビチュウス外相が出席。ロシアの攻撃的なプロパガンダを前にして、NATOに対し、NATO戦略的コミュニケーション能力を強化するよう求めた。

【6日】国会欧州委員会及び外交委員会は、EU東方パートナーシップ首脳会合(リガ・サミット)において達成されるべき成果に関する声明を発表した。

【8日】首相府は、プトケビチュウス首相が、中国で最大の団体である中国商業グループの李建紅執行理事長(Li Jianhong)と会談したこと、同商業グループ・カウナス経済自由特区、リトアニア鉄道及びクライペダ港湾局との間で覚書が署名されたことについて、プレスリリースを発出した。

【13日及び14日】トルコにおいて開催されたNATO外相会合にリンケビチュウス外相が出席。バルト諸国におけるNATO部隊の常駐のプレゼンスを確保することを求めた。

【14日】クビリウス前首相が、ウクライナ国際改革諮問評議会のメンバーに決定したことに関し、同首相の就任は、リトアニア憲法及び国会の宣誓に反するとしてリトアニア国会倫理手続委員会に対して提訴された。

【19日】バルトニュース通信は、本年2月に秩序と正義党を離脱し、労働党に所属することとなったマズローニス欧州議員(Mr. Valentinas Mazuronis)が、欧州議会において所属していた欧州議会欧州自由直接民主グループ(EFDD)から離脱し、新しく欧州自由民主連盟グループ(ALDE)に加入した旨報じた。

【20日】バルトニュース通信は、露連邦保安庁報道局が、「19日、モスクワにおいて露連邦保安庁は、リトアニアの違法の諜報機関職員であるリトアニア市民を拘束した。同諜報員は、ロシア市民から機密情報を含む文書を受け取った後、現行犯で逮捕された。」と発表した旨報じた。

【22日】大統領府は、グリボウスカйте大統領が出席した東方パートナーシップ・リガサミットに関し、「東方パートナーシップは安全保障と安寧を促進する」と題したプレスリリースを発表。

【24日】ポーランドにおいて行われた大統領選挙決選投票で勝利したドゥダ氏に対し、グリボウスカйте大統領、プトケビチュウス首相及びリンケビチュウス外相が祝辞を送った。

【26日】グリボウスカйте大統領は、当国を訪問したダービン米民主党上院議員(Mr. Richard Durbin)と安全保障及びエネルギー分野における協力や二国間の経済関係の強化について会談した。

経 済

【11日】リトアニア食品・獣医サービス局は、日本の農林水産省から専門家が11日から15日にかけてリトアニアを訪問しているとプレスリリースを発出した。

【14日】ビリニュス空港が滑走路の改良工事のために、2017年7月から8月の間の35日間、閉鎖される予定であることが明らかになった。空港利用客の60%を占めるルフトハンザ、ウィズエア、ライアンエア及びスカンジナビア航空4社は、一時的に航空機の発着をカウナス空港(ビリニュスから約100km)またはパランガ空港(ビリニュスから約330km)に移動させることに合意した。

【18日～21日】プトケビチュウス首相は、経済分野における二国間関係を促進するために80名のビジネス関係者とともにカザフスタンを訪問。21日、最終日にプトケビチュウス首相は、ナザルバエフ大統領と会談。二国間経済関係の発展及び結ばれた合意書や機会、さらにカザフスタンで開催されるEXPO 2017ヘオフィシャル・キャリアとして貨物列車「SUN」を指名することについて議論した。

【20日】リトアニア港湾局によって発表された統計によると、クライペダ港湾コンテナターミナルが今年初めにリガに奪われたバルト諸国最大運搬量の地位を奪還した。

【22日】バルト通信ニュースは、民間航空局がエアリトアニカ社の財務状態を評価した結果、財政的義務を果たせないと判断し、同社の運転ライセンスを停止したと報じた。

【28日】ヴァカロ・ジニオス紙によると、リトアニアにおいて、各銀行は、手数料のかからない現金の引き出し額を変更する予定。SEB銀行は、7月9日より、今までは1,400ユーロ以上引き出す場合に手数料が掛かっていたものを、500ユーロ以上に変更する。500ユーロ以上引き出す場合0.4%の手数料を負担しなければならないことになる。

エネルギー(含むビサギナス原発プロジェクト)

【15日】エネルギー・フォーラムにおいて、クック在リトアニア・エストニア大使(Mr. Toomas Kukk)は、「リトアニアのLNGターミナルは、エストニアにおけるガス価格を低下させるものである。4月にリトアニアから輸入されたガスは、エストニアで消費されるガスの27%を占めた。3月は18%、昨年12月は0.6%を占めていた。リトアニアのガス市場は、バルト諸国の中で最も発展している。」と述べた。

【18日】バルト通信ニュースは、露ガスプロム社がカリニングラードに建設を計画しているLNGターミナルは、リトアニア経由のガス輸送の代替策であると報じた。ガスプロム社が、バルト海の飛び地カリニングラードで計画している30億立方メートルのガスターミナル建設計画は、ロシアのエネルギー専門家によれば、リトアニアを経由したガス輸送の代替策として建設されるものであると述べている。

【25日】白石大使は、クライペダのマトゥリヨニス・クライペダ・ナフタ社LNGターミナルCEO(Mr. Tadas Matulionis)を往訪し、LNGターミナルを船上及び付帯設備から視察した。

日本との関係

【5日】リエトボス・リタス紙は、マウリツァス・ノルデア銀行首席エコノミスト(Mr. Zygimantas Mauricas、第7回日・バルトセミナー被招へい者)による日本とバルト諸国における経済関係の発展に関するインタビュー記事を報じた。

【18日】白石大使は、カウナス市を訪問し、マティヨシャイティス・カウナス市長(Mr. Visavaldas Matijosaitis)と意見交換を行った。

【19日】白石大使は、ビリニュス市を訪問し、シマシウス・ビリニュス市長(Mr. Remigijus Simasius)と意見交換を行った。

【22日】大使公邸において、リマンタス・ヴァイツクス氏への旭日中綬章伝達式を行った。

【25日】白石大使は、岩手県久慈市と姉妹都市関係にあるクライペダ市を訪問し、グルブリャウスカス・クライペダ市長(Mr. Vytautas Grubliauskas)と意見交換を行った。

この資料は、リトアニアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は在リトアニア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。